

b 地域の特性を生かした学習に関する見学・体験学習プログラム

福島県ハイテクプラザ・産総研福島再生可能エネルギー研究所に係る見学・体験学習プログラム		
作成推進校	福島県立福島高等学校	
対象児童・生徒	第一学年	
事前学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○書籍、インターネットを利用して事前の調査を行い、ハイテクプラザが果たす役割や産総研福島再エネ研究所の研究内容を知る。</li> <li>○見学先の特徴を調べ、疑問点をまとめる。</li> <li>○各自で見学のテーマを設定し、目的を明確にして見学に臨む。</li> </ul>
	期待できる成果	再生可能エネルギーに関する研究内容を調べ、最先端の研究に触れることができる。また、目的を明確にすることで主体的な参加を促すことができる。
見学・体験学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ハイテクプラザ 太陽光発電の高効率化や、水素ステーションに関する研究について学ぶ。</li> <li>○産総研福島再エネ研究所 風力発電・太陽光発電・地中熱などのエネルギー利用について学び、研究施設を見学する。</li> </ul>
	期待できる成果	福島県に関する再生可能エネルギーの研究に触れることができるため、より自分ごととして捉えることができる。
事後学習	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>○当日の質疑応答の結果や写真などを盛り込んで各自がレポートにまとめる。</li> <li>○班ごとにパワーポイントにまとめ、全体で発表を行い、各訪問先で得られた情報の共有を行う。</li> <li>○SSH校内研究発表会で発表を行い、保護者や地域の方々、他校との生徒達との意見交換を行う。</li> </ul>
	期待できる成果	生徒一人ひとりが、今後のエネルギーの在り方について考える契機となり、意見をまとめて発表することで、学習をより深めることができる。